

一関工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	社会実装演習 II
科目基礎情報					
科目番号	0016		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	未来創造工学科 (情報・ソフトウェア系)		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	4	
教科書/教材	適宜資料を配布する。				
担当教員	小保方 幸次,早川 知道				
到達目標					
システム製作に関して一連の流れを演習を通して習得する。具体的には (1) システム開発、(2) 検証・評価、(3) 発表を通して、システム構築のためのプロジェクトに必要なスキルを習得する。					
【教育目標】 C, D, E					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
構想・修正案・修正計画	コメントに基づいた修正計画を立案できる。		修正計画を立案できる。		修正計画を立案できない。
検証・評価	開発したシステムの効果的な検証・評価ができる。		開発したシステムの検証・評価ができる。		開発したシステムの検証・評価ができない。
発表	プロジェクトに関する資料をわかりやすくまとめ、発表できる。		プロジェクトに関する資料をまとめ、発表できる。		仕様書などプロジェクトに関する資料をまとめることができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	システム構築にはコーディングなど技術的なスキルの他に、課題発掘やプロジェクト管理、リスク管理などのスキルも必要となる。これらのスキルを演習を通して習得する。				
授業の進め方・方法	課題の定義からプロジェクト管理、発表をグループワークで進める。プロジェクト管理などの手法について適宜説明する。				
注意点	報告書と発表で評価する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	工程確認	作業工程の確認を行う。	
		2週	システム開発 (1)	企画したシステムの開発を行う。	
		3週	システム開発 (2)		
		4週	システム開発 (3)		
		5週	システム開発 (4)		
		6週	システム開発 (5)		
		7週	発表準備	デモンストレーションの準備を行う。	
		8週	システム発表	開発したシステムのデモンストレーションを行う。	
	4thQ	9週	検証・評価 (1)	検証・評価を実施する。	
		10週	検証・評価 (2)		
		11週	検証・評価 (3)		
		12週	発表準備	成果発表会の準備を行う。	
		13週	成果発表会	成果物を他者に発表できる。	
		14週	実施報告書作成		
		15週	まとめ		
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		報告書	発表	合計	
総合評価割合		80	20	100	
システム開発		50	0	50	
検証・評価		30	0	30	
発表		0	20	20	